

# 政策調整会議の概要

開催日 平成26年11月6日(木)

## ◎項目

- 1 高知県の経済概況について【総務部】
- 2 政策広報の伝達事項について【総務部】
- 3 各部局等の主要な取り組みについて【各部局等】

## ◎内容

### 1 高知県の経済概況について【総務部】

総務部から、資料に基づき高知県の経済概況について概要説明が行われた。

#### 【主な説明概要】

(総務部)

- ・ 個人消費のうち、9月の新車販売台数は3ヶ月連続のマイナスで2,522台となっている。普通車、軽自動車とも3ヶ月連続のマイナスとなっている。平成26年度の上半期(4月-9月)では、消費税率引き上げの反動減などもあり、全体ではマイナス3.4%となっている。
- ・ 投資について、9月の新設住宅着工戸数は持ち家や貸家は減少したが、分譲住宅が増加し、前年同月比では横ばいとなった。民間企業を中心とした9月の用途別着工建築物工事金額は情報通信などが増加し、2ヶ月ぶりのプラスとなっている。
- ・ 9月の有効求人数は0.3%増の1万2,673人となっている。60ヶ月連続でプラスとなっている。
- ・ 高知県の9月の有効求人倍率は横ばいの0.85倍となっている。全国は0.01ポイント下降の1.09倍となっている。

### 2 政策広報の伝達事項について【総務部】

総務部から、資料に基づき政策広報の伝達事項について概要説明が行われた。

(副知事)

政策広報推進員である副部長が、責任を持って内容もチェックし、なぜこういう表現にしているのか、なぜこのことについて触れてないのか、などしっかり説明できるようにお願いしたい。

### 3 各部局等の主要な取り組みについて【各部局等】

総務部が取りまとめた各部局等の主要な取り組みに関する資料を配付の上、各部局による概要説明が行われた。

#### 【主な説明概要】

(地域福祉部)

11月に児童虐待防止のキャンペーンを行う。児童虐待については、平成25年度児童相談所に通告があった件数が288件、このうち児童虐待と認定をされた件数が181

件となっている。平成 23 年度が 116 件、平成 24 年度が 153 件、平成 25 年度が 181 件ということで増加してきている。こうした状況もあり、児童虐待問題に対して理解、関心を持っていただくために「高知オレンジリボンキャンペーン」を行う。

(観光振興部)

観光客入り込み客数については、8 月末までの昨年度比では 99.2%となっており、9 月補正でバージョンアップをしたので、目標達成に向けて取り組みたい。

また、外国人観光客がとても増えている。1 月～6 月の実績で昨年から 4 割ぐらい増加している。特に台湾が 1.7 倍、香港が 3 倍となっており、このままのペースで行くと、外国人観光客が年間 3 万人泊ぐらいになるのではないかと考えている。

(農業振興部)

「こうちアグリスクール(都会で学ぶ農業技術研修)」を平成 22 年度からこれまで東京と大阪の会場でやっていたが、高知でも農業技術の研修を受けたい人がいるのではないかとということで、今年度初めて高知で開講する。今のところ 20 名の募集に対して 26 名応募と、好評なので来年度以降も継続していきたいと考えている。

(水産振興部)

10 月 23 日に魚の外商の拠点となる「築地につぼん漁港市場」がオープンした。県内の水産 2 業者と 2 漁協の連合体が「さかな屋 高知家」という屋号で出展している。全国ネットで放送していただけたため、この店の名前はもとより随分 PR 効果は上がったのではないかと感じている。これまでの取り引きでは、一般の方が多く業務筋がまだ十分入れてないということなので、これから各事務所あるいは地産外商公社にもご協力をいただきながら、外商を広げていきたい。